

10. 開発品（2025年1月31日現在）

領域	一般名・開発No. [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
感染症	セフィデロコルトシル酸塩硫酸塩水和物 [米国: Fetroja [®]] [欧州: Fetroja [®]] [日本: フェトロージャ [®]]	細胞壁合成阻害（注射）	グラム陰性菌感染症（小児）	グローバル：フェーズⅢ（小児）	自社	自社
	セフィデロコルトシル酸塩硫酸塩水和物 [米国: Fetroja [®]] [欧州: Fetroja [®]] [日本: フェトロージャ [®]]	細胞壁合成阻害（注射）	グラム陰性菌感染症	中国：申請（2024年8月） 中国：フェーズⅢ	自社	平安塩野義有限公司（中国）
	セフィデロコルトシル酸塩硫酸塩水和物 [米国: Fetroja [®]] [欧州: Fetroja [®]] [日本: フェトロージャ [®]]	細胞壁合成阻害（注射）	グラム陰性菌感染症	オーストラリア：申請（2024年12月）	自社	自社
	バロキサビル マルボキシル [米国: Xofluzam [™]] [日本: ソフルーザ [®]]	キャップエンドヌクレアーゼ阻害（経口・顆粒）	インフルエンザウイルス感染症	日本：申請（体重20kg 未満）（2018年8月）	自社	自社/Roche（スイス）
	S-268019 [日本: コプゴーズ [®]]	ワクチン（筋注）	新型コロナウイルス感染症の予防	日本：承認（2024年6月） 日本：フェーズⅢ	自社	自社
	S-268019 [日本: コプゴーズ [®]]	ワクチン（筋注）	新型コロナウイルス感染症の予防（青少年）	日本：フェーズⅡ/Ⅲ	自社	自社
	S-268019 [日本: コプゴーズ [®]]	ワクチン（筋注）	新型コロナウイルス感染症の予防（学童）	日本：フェーズⅠ/Ⅱ/Ⅲ	自社	自社
	S-268023	ワクチン（筋注）	新型コロナウイルス感染症の予防	日本：フェーズⅢ	自社	自社
	エンシトレルビル フマル酸 [日本: ソコーバ [®]]	3CLプロテアーゼ阻害剤（経口）	新型コロナウイルス感染症の治療（12歳以上）	日本：フェーズⅢ グローバル：フェーズⅢ 韓国：申請取り下げ 台湾：申請（2025年1月） シンガポール：申請（2023年12月）	自社	日本・グローバル・台湾：自社 韓国：自社 /Ildong シンガポール：自社 /Juniper
	エンシトレルビル フマル酸 [日本: ソコーバ [®]]	3CLプロテアーゼ阻害剤（経口）	新型コロナウイルス感染症の治療（小児 5-11歳）	日本：フェーズⅢ	自社	自社
	エンシトレルビル フマル酸 [日本: ソコーバ [®]]	3CLプロテアーゼ阻害剤（経口）	新型コロナウイルス感染症の予防	グローバル：フェーズⅢ	自社	自社
	Olorofim	ジヒドロオロト酸デヒドロゲナーゼ(OHODH)阻害（経口）	侵襲性アスペルギルス感染症	グローバル：フェーズⅢ	F2G（英国）	自社/F2G
	S-892216	3CLプロテアーゼ阻害剤（経口）	新型コロナウイルス感染症の治療	日本：フェーズⅠ	自社	自社
	S-337395	RNA依存性RNAポリメラーゼ阻害（経口）	RSウイルス感染症	日本：フェーズⅠ 欧州：フェーズⅡ	自社/UBE	自社/UBE
	S-743229	細胞壁合成阻害（経口）	腎盂腎炎を含む複雑性尿路感染症	米国：フェーズⅠ 豪州：フェーズⅠ	自社/Qpex	自社/Qpex
	S-649228	細胞壁合成阻害（注射）	グラム陰性菌感染症	米国：フェーズⅠ	自社/Qpex	自社/Qpex
QOL疾患	ナルデメジントシル酸塩 [日本: スインブロイク [®]] [欧州: Rizmoic [®]]	末梢性オピオイド受容体アンタゴニスト（経口・散剤）	オピオイド誘発性便秘症（小児）	欧州：フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
	ナルデメジントシル酸塩 [日本: スインブロイク [®]] [欧州: Rizmoic [®]]	末梢性オピオイド受容体アンタゴニスト（経口）	オピオイド誘発性便秘症	中国：フェーズⅢ	自社	平安塩野義有限公司（中国）
	ズラノロン	GABA _A 受容体ポジティブアロステリックモジュレーター（経口）	うつ病・うつ状態	日本：申請（2024年9月）	Sage（米国）	自社/Sage
	SDT-001	中枢作用に基づく、治療用デジタルアプリ	小児期における注意欠如多動症（ADHD）の治療	日本：申請（2024年2月）	Akili（米国）	自社/Akili
	Zatolmilast	PDE4Dネガティブアロステリックモジュレーター（経口）	脆弱X症候群	米国：フェーズⅡ/Ⅲ	Tetra（米国）	自社/Tetra
	Zatolmilast	PDE4Dネガティブアロステリックモジュレーター（経口）	Jordan症候群	米国：フェーズⅡ	Tetra（米国）	自社/Tetra
	Zatolmilast	PDE4Dネガティブアロステリックモジュレーター（経口）	アルツハイマー型認知症	米国：フェーズⅡ 日本：フェーズⅡ	Tetra（米国）	自社/Tetra
	Resiniferatoxin	TRPV1受容体アゴニスト（関節腔内注）	変形性膝関節症に伴う疼痛	グローバル：フェーズⅢ	Grünenthal（ドイツ）	Grünenthal
	S-151128	Nav1.7阻害剤（注射）	慢性疼痛	日本：フェーズⅠ	自社	自社
	ADR-001	ヒト他家脂肪組織由来の間葉系幹細胞（注射）	非代償性肝硬変	日本：フェーズⅠ/Ⅱ	ロート（日本）	自社/ロート
	S-309309	モノアシルグリセロールアシルトランスフェラーゼ2阻害剤（経口）	肥満症	米国：フェーズⅡ	自社	自社
	S-588410	がんペプチドワクチン（注射）	食道がん	日本：フェーズⅢ	オンコセラピー・サイエンス（日本）	自社
	S-588410	がんペプチドワクチン（注射）	膀胱がん	日欧：フェーズⅡ	オンコセラピー・サイエンス（日本）	自社

領域	一般名・開発No. [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
QOL疾患	S-488210	がんペプチドワクチン（注射）	頭頸部がん	欧州：フェーズⅠ/Ⅱ	オンコセラピー・サイエンス（日本）	自社
	S-588210	がんペプチドワクチン（注射）	固形がん	英国：フェーズⅠ	オンコセラピー・サイエンス（日本）	自社
	S-222611 (Epertinib)	HER2/EGFRデュアル阻害薬（経口）	悪性腫瘍	欧州：フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
	SR-0379	肉芽形成促進作用（外用）	皮膚潰瘍（褥瘡、糖尿病性潰瘍）	日本：フェーズⅢ	ファンベップ（日本）	自社/ ファンベップ
	レダセムチドトリフルオロ酢酸塩	間葉系幹細胞を末梢血に動員（注射）	脳梗塞	グローバル：フェーズⅡb	ステムリム（日本）	自社
	レダセムチドトリフルオロ酢酸塩	間葉系幹細胞を末梢血に動員（注射）	表皮水疱症	日本：フェーズⅡ	ステムリム（日本）	自社
	S-531011	抗CCR8抗体（注射）	固形がん	日本・米国：フェーズⅠb/Ⅱ	自社	自社
	S-740792	新規メカニズム（経口）	多発性硬化症に伴う歩行障害	米国：フェーズⅠ	自社	自社
	SA55-001(S-600918+併用薬X)	P2X3受容体阻害（経口）+併用薬Xの作用機序	睡眠時無呼吸症候群	米国：フェーズⅡ	S-600918: 自社	Shionogi-Apimed Sleep Science, LLC（米国）
	S-606001	グリコーゲン合成酵素（GYS1）の阻害（経口）	ポンペ病	日本：フェーズⅠ	Maze（米国）	自社

<導出品>

一般名・開発No. [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
パロキサビルマルボキシル [米国：Xofluza TM] [日本：ゾフルーザ [®]]	キャップエンドヌクレアーゼ阻害（経口）	インフルエンザウイルス感染症	欧州：申請（小児、1歳未満）（2024年6月） 米国：申請（伝播抑制）（2024年11月）	自社	自社/ Roche（スイス）
S-723595 (TLC-3595)	アセチルCoAカルボキシラーゼ2阻害（経口）	2型糖尿病	ニュージーランド：フェーズⅡa	自社	OrsoBio（米国）
S-365598	インテグラーゼ阻害（超長時間作用型注射）	HIV感染症	グローバル：フェーズⅡa	自社	SHIONOGI-ViiV Healthcare

2024年10月28日からの変更点

変更点	パロキサビル マルボキシル（伝播抑制）：グローバル：フェーズⅢ→米国：申請
	エンシトレルビル フマル酸：韓国：申請→韓国：申請取り下げ
追加	セフィデロコルトシル酸塩硫酸塩水和物：オーストラリア：申請
	エンシトレルビル フマル酸：台湾：申請
	Zatolmilast（Jordan症候群）：米国：フェーズⅡ